

# Enterprise Reporter Suite

Microsoftプラットフォームのセキュリティ、コンプライアンス、およびレポート作成のシンプル化

今日のシステムおよびセキュリティ管理者は、さまざまな業務に対して責任を担っています。例えばセキュリティ評価、移行前や移行後の分析、リソースの最適化や割り当てなどです。毎日、次のような質問に答えるタスクを課されています。

- Active Directory (AD) と Azure AD に対して、誰が何を行う権限を持っているか?
- ハイブリッド展開の Exchange ではどのメールボックスが移行され、存在しているのか?
- 誰がどのプリンタ、共有、フォルダ、ファイル、Microsoft SQL Server データベースにアクセスできるか?
- Azure ではどのようなリソースがホストされているか、また、それにアクセスできるのは誰か?
- 自分のサーバはどのように設定されているか?
- 各サーバにどのようなローカルユーザやグループが存在しているか、また、グループメンバーシップはどうなっているか?

手動の方法では、こうした質問への回答は他のプロジェクトに費やすべき時間を浪費してしまう膨大なタスクになります。さらに、このタスクではエラーが生じやすく、

セキュリティ違反に対して脆弱になってしまいます。

たったひとつのソリューションで Microsoft システムの現在および過去の設定を識別し、管理者が迅速かつ効率的にこれらの質問に回答するのを助けることができます。Quest® Enterprise Reporter Suite は、Microsoft 環境（オンプレミスとクラウドサービススペースの両方）のセキュリティとコンプライアンスの維持に役立ちます。包括的なアクセス評価と内蔵のレポート作成機能により、Active Directory/Azure AD、Azure のリソース、Exchange/Exchange Online、Microsoft Teams、OneDrive for Business、Windows Server、SQL Server、ネットワーク接続ストレージ (NAS)、ストレージ・エリア・ネットワーク (SAN) を、ユーザ、グループ、権限、アプリケーション、リソース、仮想マシン (VM)、およびその他の構成を含めて詳細に可視化することができます。

さらに、Enterprise Reporter Suite には Quest® Security Explorer® が含まれているため、不適切な権限の削除を Enterprise

「Enterprise Reporter はとても使いやすいです。レポートテンプレートはとても便利で、数分でカスタマイズして必要なデータを収集できます。」

中小規模企業金融機関  
出典: TechValidate

## メリット:

- お使いの Microsoft 環境全体にわたって誰がどのリソースにアクセスできるのかを、オンプレミスでもクラウドサービスでもリアルタイムに評価
- Microsoft Teams でどのようなチームが作成され、どのように使用されているのかを可視化することで、Office 365 環境におけるグループの無秩序化を回避
- 職務の適切な分離を保ちつつ、重要な IT アセット構成の可視性を高めることでセキュリティとコンプライアンスを向上
- テナント、サブスクリプション、およびサービスプランのライセンスを可視化することで、Office 365 のライセンス割り当てとサービスプランに関する意思決定を最適化。ならびに仮想マシンとディスクの使用率を可視化することで、Azure のリソースを最適化
- 拡張性、安全性、カスタマイズ性に優れており、レポート利用者グループが複数存在する大規模で複雑な Windows 環境に対応

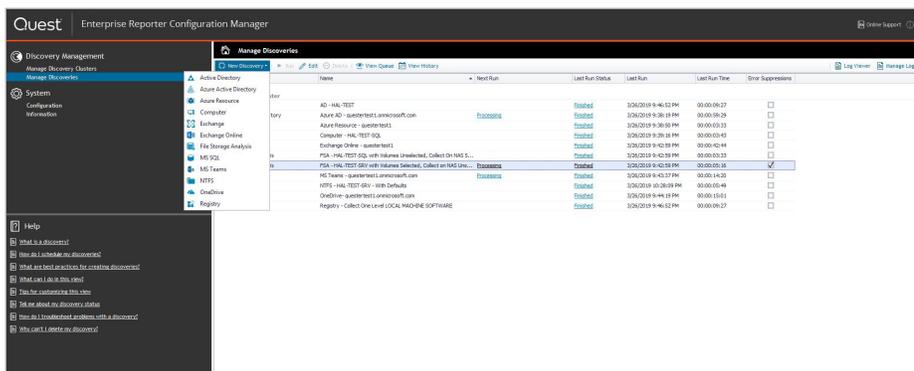


図1: Enterprise Reporter は、Active Directory/Azure AD、Exchange/Exchange Online、Microsoft Teams、OneDrive for Business、Windows Server、SQL Server、NAS、SAN の構成における収集、保存、レポート作成を行います。

Enterprise Reporterは、Active Directory/Azure AD、Exchange/Exchange Online、Microsoft Teams、OneDrive for Business、Windows Server、SQL Server、NAS、SANの構成における統一されたレポート作成によって、Microsoftプラットフォームのセキュリティとコンプライアンスをシンプルにします。

#### システム要件

システム要件の詳細については、[リリースノート](#)を参照してください。

Reporterのユーザインターフェイスから迅速に実行することができます。Security Explorerには他にもさまざまなセキュリティ機能が用意されており、例えば、許可の付与、取り消し、複製、変更、上書きを迅速かつ一元的に行うことが可能です。レポート作成機能と修復機能を組み合わせることで、セキュリティとコンプライアンスセキュリティ脆弱性の悪用が生じる前に防止することができます。

#### 特長

##### Enterprise Reporterの特長

- **セキュリティとコンプライアンスの可視性** — Windows環境内のすべての重要なIT資産の構成を可視化することで、セキュリティに関するベストプラクティス、社内ポリシー、および外部規制に対するコンプライアンスを強化することができます。
  - **Active Directory/Azure AD** — ADのユーザ、グループ、ロール、組織単位、権限、およびAzure ADのユーザ、グループ、ロール、アプリケーション、サービスプリンシパル
  - **Exchange/Exchange Online** — メールボックス、メールボックスフォルダ、メールが有効なユーザ、配布グループ、パブリックフォルダ、権限など
  - **Office 365** — Azure AD、Exchange Online、Microsoft TeamsおよびOneDrive for Business内の重要なIT資産の構成
  - **Windows Server** — オンプレミス環境の共有、ファイル、フォルダ、プリンタ、レジストリキー、およびサービス
  - **OneDrive for Business** — ファイルおよびフォルダの権限（内部または外部でのコンテンツの共有が可能かどうかなど）
  - **SQL Server** — データベースのセキュリティ設定（ユーザ、ログイン情報、ロール、データベース権限など）
  - **Azureのリソース** — VM、ディスク、ネットワーク・セキュリティ・グループ、ストレージアカウントなど
- **アクセス評価** — アクセスエンタープライズネットワークのどのリソースに誰がアクセスできるかを把握できます。アクセスが「必知事項」に基づいて厳密に提供されるようにすることで、セキュリティを強化し、IT監査に合格できるようにします。
- **テナント、サブスクリプション、ライセンス付与の可視化** — テナント、サブスクリプション、およびサービスプランへのライセンス付与を可視化することで、Office 365のライセンスの割り当ておよびサービスプランに関する意思決定を簡単に最適化できます。

- **ホストされたリソースの最適化** — VMとディスク配置について、数、サイズ、構成などを可視化することにより、Azureリソースの使用方法を最適化します。それにより、不要または十分活用されていないリソースを節約できます。
- **移行前後の分析** — ユーザやグループの依存関係、オブジェクトの一致と潜在的なコンフリクト、未使用または無効にされたアカウント、およびリソース、コンピュータ、ファイル、フォルダのある場所の可視性を高めて、移行または統合プロジェクトを計画します。事前に移行すべきものを容易に特定でき、移行後にはデータやアクセス許可が正しく移行されたことを確認できます。
- **Microsoft Teamsの評価** — お使いのOffice 365環境にどのようなMicrosoft Teamsが存在し、どのように使用されているか、およびそのメンバーについて、迅速な検出とレポート作成が可能です。Enterprise Reporter for Office 365によって、Microsoft Teamsの展開を、無秩序なグループの拡大やモニタ使用を回避しつつ簡単に把握できるようになります。
- **Quest IT Security Searchによる状況分析の強化** — 多くのシステムやデバイスに分散したITデータをインタラクティブな検索エンジンで関連付け、迅速なセキュリティインシデント対応とフォレンジック分析を可能にします。ユーザの資格とアクティビティ、イベントのトレンド、不審なパターンなど、さまざまなデータを豊富な可視化機能やイベントタイムラインを使用して確認できます。
- **キャパシティプランニング** — Windowsファイルサーバ、NAS、SANなど、さまざまなデバイスを対象に、ストレージのキャパシティプランニングおよび割り当てに関するレポートを作成して管理します。
- **拡張性が高いデータ収集** — 規模の大きさや地理的な分布に関わらず、どのような環境にも対応できます。収集のスケジュールをオフピーク時に設定し、データ収集がネットワークおよびサーバのパフォーマンスに及ぼす影響を最小限に抑えます。さらに、ロードバランシングのために分散型の収集アーキテクチャを利用します。
- **効率的なストレージ** — 検出結果を比較し、変更部分のみを保存することで、データベースのストレージ必要量を低減し、より多くの変更履歴データを保存できます。
- **レポート作成ワークフローの自動化** — レポート作成の自動化と柔軟なレポート配信スケジュールによって、関係者は必要なときに必要なレポートが得られるようになります。
- **職務の分離 (SoD)** — 監査担当者、ヘルプデスクのスタッフ、IT管理者などの関係者が必要とするレポートを過不足なく正確に取得できるようにすることで、部門や業務の職務範囲を順守できます。

## カテゴリ別内蔵レポートの例

### Active Directoryレポート:

ユーザ、グループ、ドメインなど向けの情報

ドメインの複製とマッチング (コンピュータ、グループ、ユーザ)

### Azure Active Directoryレポート:

テナント情報

アプリケーションのサービスプリンシパル

Azureのユーザ、ロール、グループ、メンバー

### Microsoft Teams:

チームとメンバー

チーム所有者の情報

### Azureのリソース:

リソースアクセス、グループ、サブスクリプション情報

ストレージアカウント情報

仮想マシンおよびディスクの情報

### OneDrive for Businessレポート:

構成設定

ドライブの情報と権限

### Exchange/Exchange Online:

配布グループ

メールボックスに対する権限

パブリックフォルダに対する権限

### Windowsファイルサーバ

ファイルとフォルダの情報および権限

### ハイブリッド:

OneDriveとNTFSのファイルとフォルダのアクセス許可

### SQL Server:

インスタンス、権限、ロール、ユーザなど

### ファイルストレージの分析:

キャパシティプランニング

ファイルとフォルダ、共有とユーザレポート

[すべてのレポートのリストを表示](#)

- ・ **カスタマイズ可能なレポート** — 事前定義されたレポートを使用したり、新たなレポートを作成したりして、組織特有の情報ニーズを満たす効果的なデータ分析を実行します。高度なフィルタリング機能を使用してカスタマイズできるうえ、各種のフォーマット (PDF、HTML、MHT、RTF、XLS、XLSX、CSV、テキスト、画像など) でエクスポートすることもできます。
- ・ **共通のレポート作成ポータル** — 当社のソフトウェア Knowledge Portal にレポートをエクスポートして、Questのセキュリティおよびコンプライアンスに関するソリューションファミリー共通のレポート作成用インターフェイスを使用できます。

## Security Explorerの特長

- ・ **一元化された権限管理** — 権限を付与、取り消し、変更する機能により、サーバに対して特定の変更または一括変更を行います。リソースのアクセス制御リストで、グループメンバーシップの設定を直接表示して管理します。保護されたオブジェクトに権限を強制することで、アクセス拒否エラーを解決します。
- ・ **全社規模の権限レビュー** — サーバごとに権限を手動で検索する必要はありません。AD、ファイルサーバ、Exchange Server、SQL Server、SharePointで、継承されている権限または明示的な権限を検索します。さらに、サービス、タスク、ユーザ、グループに対する権限も検索します。

- ・ **高度なセキュリティと権限** — 権限を迅速にバックアップしてアクセス制御のベースラインを設定し、そのベースラインにいつでも戻すことができます。このため、データを復元しなくても、偶発的な変更や悪意のある変更から簡単にリカバリできます。また、セキュリティを強化し、コンプライアンス要件を適用できるようになります。
- ・ **完璧なレポート作成** — レポート作成ディレクトリツリー内の任意の場所にある項目について、権限を列挙したデータベースやスプレッドシートをエクスポートします。結果をフィルタリングして、親フォルダとは異なる権限のみを表示します。ネットワーク全体で特定のグループまたはユーザがアクセス権を付与されているすべての場所を対象を絞った検索を実行し、そのデータをエクスポートして臨時のセキュリティレポートを作成します。
- ・ **直感的なアクセス制御** — セキュリティ設定をバックアップして別の場所に復元できるので、新しいサーバに適切なアクセス権を確実に設定できます。

## QUESTについて

Questは、急速に変化するエンタープライズITの世界にソフトウェアソリューションを提供しています。データの爆発、クラウドサービスへの拡張、ハイブリッドデータセンター、セキュリティ脅威、規制上の要

件によって生じる課題のシンプル化を支援します。Questのポートフォリオは、データベース管理、データ保護、統合エンドポイント管理、IDおよびアクセス管理、Microsoftプラットフォーム管理などのソリューションで構成されます。